



学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.io/school/E15/index.html>

H30.2.2(金) NO.19
尼崎市立浜小学校
校長 中根 孝介
06-6499-1536



「子どもの力」をいかにして伸ばすか？

「ピグマリオン効果」という言葉をご存じですか？「ピグマリオン効果」とは、他人から期待を持って関わられることで、学業やスポーツの成績、作業効率などが向上する現象のことです。たとえば、「この子は、よく伸びる」と伝えられ、期待をかけられて育てられた子は、そうでない子より、成長幅が大きくなり、学習効果や作業能率が上がると言われています。これは、アメリカの教育心理学者ロバート・ローゼンタールによって50年以上も前に実験で実際に検証され、提唱されました。この実験と提唱には、厳密な科学的見地からすると、異論もあるようですが、「期待を持って育てる」「ほめて育てる」ことで、対象とする人が大きく伸びていくということは、よくみられるようです。

もちろん、「過度の期待」は子どもに大きな負担感をもたらしてしまうこともあり、考えなければいけません。また、「ほめる」と言っても何でもやみくもにほめてよいわけでもありませんし、正すべきことは正すことも必要です。

しかし、家庭や学校で子どもと接するとき、その子に期待を持って、ほめながら育てていくことも必要なのではないのでしょうか。「あれはだめ」「これもだめ」「どうしてできないの!？」と批判や叱責だけでは、子どもが自信を喪失し、自尊感情を持ちにくくなってしまいます。「どうせ、自分はやっても無駄なんだ」「自分はだめなんだ」とばかり思っているのは、子どもは大きくは成長しません。周囲からは「適度な期待」をかけられ、認められ、また、自分自身に対しても期待を持ち「自分はできるんだ」「絶対うまくいく」と、自己暗示をかけるように取り組むことで、大きな成果を生むことができるのではないのでしょうか。実際、スポーツ界や企業などで大きく成功した人にも、こうして自己暗示をかけて成功した例も少なくないようです。

「ほめる」のススメ

「うちの子、落ち着きがないんですけど～」、「我慢ができないですが～」、「片づけが苦手ですね」…、どうしたらいいですか？相談を受けることがあります。そこで「ほめる」のススメです。なかなか我慢ができないとしても、些細なことでも我慢できたことがあれば、「我慢強くなってきたね。」「前より我慢できるようになってきたね。」と言葉がけをします。これが子どもの行動のひとつの指針になり、子どもも徐々に良い方向に向かいます。普段落ち着きがないと思っている子どもも一日中絶えず落ち着きがないわけではありません。ほっとしていたり、ぼんやりしたりしていることもあるはずですが、そんなときに、「このごろ落ち着いてきたね。」とか「穏やかにしている時間が増えてきたね。」のひと言を。

「今日は(も)言われなくても宿題やってるね。」「〇〇ちゃんが描いた絵は、素敵な色やね。」「毎日本読みしていると、だんだん声も大きくなって、はっきり読めるようになってきたね。」「うわ～、すごい。今日は一回言っただけでお片付けができたね」…と、良い方向づけをしてあげることで、改善に向かうと言われていきます。

「子育て」や「教育」には、特効薬はありません。とかくガミガミと言いたくなることも多いですが、根気よく、気長に取り組むことがひょっとしたら成長への近道かもしれません。しかることはすぐに目につきがちですが、ほめるところを見つけてください。少しでもよくなったところを探してみてください。必ずよくなっていることはあるはずです。そして「えらい。～してる。」「さすが〇〇、こんなこともできるなんて、すごいね。」と思いきりほめてあげてください。

しかるべきときには、しっかりと理由を話し、手短かに、はっきりと、伝える方がよいことが多いようです。



《全国学力学習状況調査》

昨年4月に6年生を対象に行われた全国学力学習状況調査結果の詳細が尼崎市から発表されました。この調査は、児童の学習の定着度や学習意識、家庭での学習状況を客観的に把握し、今後の指導に役立たせるために実施しています。平成29年度は、国語と算数、学習等に関する意識調査が行われました。本校の結果と分析内容をお知らせいたします。

裏面に続く

(国語 A・算数 A は主に知識、国語 B・算数 B は主に活用に関する問題で学習内容は 5 年生までの内容)

●国語 AB・算数 AB とも平均正答率で、尼崎市平均、全国平均を下回っていました。

【国語】

- 国語 A の「書くこと」では、全国平均正答率より若干低いですが、ほぼ全国平均と考えてよく、尼崎市平均とも差がありません。しかし、「読むこと」については全国・尼崎市平均を下回っており、課題があります。⇒しっかりと文章を読み解いていく力を身につけていく必要があります。
- 漢字の読み取りは、ほぼ全国平均ですが、書き取りでは、正答率が大きく下回っているものもあります。⇒漢字の書き取りの徹底（繰り返し練習）が大切です。
- 国語 B では、全体的に課題が多く、基礎知識をもとにさらに活用していく力を今後つけていく必要があります。

【算数】

- 加減や乗除が混ざった計算問題や、資料を整理し表にまとめ合計を算出する問題が特に難しかったようで、正答率は半分に届かず、全国平均とも差が開きました。四則計算の基本や順序だてて考え整理していく力を伸ばしていく必要があります。
- 少数と整数が混ざった問題や少数のかけ算の仕組みを考える問題、平均を求める式を選ぶ問題などについては全国の平均正答率とほぼかわりません。平均については、応用を利かせた問いについての正答率が低い傾向にあります。課題を把握し、筋道立てた学習に取り組んでいくことが大切です。

【学習状況調査（質問紙）】

- 塾（家庭教師）に行っている児童の割合は、全国平均と大きく変わりません。
- 宿題をしている割合も全国平均とほぼ変わりませんが、普段の学校外での勉強時間（塾等を含めて）がかなり少ない傾向にあります。家で学校の復習をしている児童の割合も全国平均と比べるとかなり低くなっています。
- 家庭での過ごし方としては、①テレビや DVD など ②ゲーム（スマホや PC ゲーム等を含む） ③メールやインターネット に費やされている時間が全国平均よりかなり多く、これらの機器に依存している傾向が伺えます。また、こうした機器について、家庭での約束事を決めている家庭は、全国平均より少なくなっています。（反対に読書時間については少なく、さらに読書に親しめるようしていく必要があります。）
- 「算数を好き」「算数の授業がわかる」と感じている児童の割合は、全国平均を上回っています。
- 「学習が大切だ。将来役立つ」と思っている児童は全国平均を下回っています。学習の有用性や大切さを感じさせたり、自己肯定感を持たせたりする教育活動が大切だと考えています。

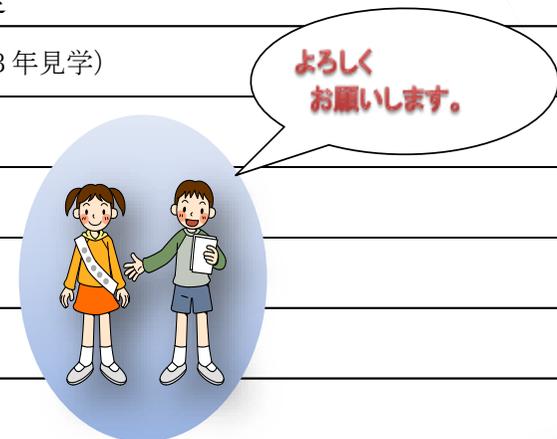
尼崎市全体でも、家庭へのお願いという形で、次のようなことが言われています。（尼崎市市報 1 月号）●テレビの視聴時間や、ゲーム、携帯電話、スマートフォンの使用時間・使い方などを話し合ってみてください。●学校と家庭が協力して、学校からの宿題だけではなく「自分で勉強する」習慣が身に付くよう、将来の夢や目標について話し合ってみてください。

浜小学校の授業については、主体的、対話的な深い学びに向けての更なる取り組みが必要なことがこの分析等からもわかりました。今後も子ども達がより理解できるよう授業の改善に向けて取り組んでまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。



<行事予定>

日	曜日	予 定
5 日	月	集会 クラブ活動（3 年見学）
6 日	火	児童会役員選挙
8 日	木	社会見学（ひまわり）
9 日	金	新 1 年入学説明会
1 1 日	日	建国記念の日
1 2 日	月	振り替え休日
1 3 日	火	参観・懇談（1～2 年）
1 4 日	水	参観・懇談（3～5 年）
1 5 日	木	参観・懇談（6 年） 赤ちゃん先生教室（4 年）
1 6 日	金	参観・懇談（ひまわり学級）
1 9 日	月	集会 クラブ活動 生活がんばり表チェック週間（2/23 まで） 小田地区合同学習会（ひまわり）
2 3 日	金	小田北中学校訪問・クラブ体験（6 年）
2 6 日	月	朝会 委員会活動・代表委員会
2 7 日	火	6 年生を送る会
2 8 日	水	社会見学（5 年）



< 3 月の主な予定 >

- 3 月 2 日（金）社会見学（4 年・6 年）
- 3 月 1 6 日（金）給食終了
- 3 月 2 0 日（火）卒業証書授与式
- 3 月 2 3 日（金）修了式

※ 1～4 年は、休業日

学年のまとめの時期ですね。

